

令和4年度 第3回 藤沢市立富士見台小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2022年9月14日（水）10時～
場 所 富士見台小学校 ランチルーム

出席委員	<p>横山 俊明（会長・長後共育フォーラム会長） 神尾 康子（副会長・富士見台小学校校長） 松森 裕二（長後市民センター長） 梅田 亮（富士見台小学校前PTA会長） 白石 つや子（民生委員児童委員） 薩田 早苗（社会体育振興協議会） 大塚 富美子（前学校評議員 青少年育成協力会） 田中 一次（元中学校長） 中野 伸哉（社会福祉協議会地域福祉課地域支援担当 CSW 長後地区担当） 太田 信弘（富士見台小学校教頭） 大田 紘丈（富士見台小学校児童支援教諭）</p> <p style="text-align: right;">以上11名出席 傍聴人 なし</p>
次第	<p>1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 (1) 「学校生活についてのアンケート」について (2) 富士見台小学校の現状と課題について（富士見台小学校 校長） ・ 5年生米づくり体験学習について（中間報告） (3) その他 ・ 児童の下校時の見守りについて (4) 校内授業参観 4. その他 次回の予定について 5. 閉会</p>
協議内容	<p>（意見等） 3. (1) について ・ 大田児童支援担当教諭・・・アンケート方法・結果、いじめ防止基本方針の見直し、現在のいじめの定義の紹介。いじめについて、教職員はどの学校でもいじめがあるものと捉え、認知し、積極的に解消している。いじめの対応に関してはチームで取り組んでいる。 ・ 神尾副会長（校長）・・・スクールロイヤーについて 藤沢市には教育関係の法的対応を専門に行っている弁護士がいる。学校の法的対応が必要な時や法的な根拠を尋ねている。富士見台小では「いじめ防止研修」の時に講師として来ている。 ・ 梅田委員・・・監視カメラ等でいじめを見地する。防止するなどの対策はないか。→神尾副会長・・・防犯カメラの設置はしているが、いじめの発見を目的とした監視カメラの設置はない。 ・ 田中委員・・・子どもが学校で嫌だと感じることは毎日ある。だが、相談をしない子どもたちも多い。子どもは担任以外にも相談をできる先生がいる環境が必要</p>

また、いじめは対応がケースバイケースであり、子どもが困らない対応が大切。学校も子どもが担任の先生以外にも相談できる学校づくりや、子どもの困り感を解消する学校づくりが必要である。

→神尾副会長（校長）・・・学校ではチームでの対応を大切にしている。担任だけでなく、学年、児童支援担当、養護教諭、管理職、スクールカウンセラー等、いじめに対してチームで対応している。また児童には誰にでも相談できるということを伝えている。そして、藤沢市では「いじめ相談フォーム」という学習用端末で相談できる体制など様々な方法で相談できる体制も整えている。

→白石委員・・・いじめが起きた時の指導はどのようにしているのか。

→大田児童支援担当教諭・・・児童の困り感に寄り添い、個別に指導をするときもあれば全体に指導する。また、道徳の時間を使って指導する場合もある。お互いの話し合いをする場を作ることもある。困っている子の考えに寄り添いながら解決法を一緒に考えている。

・梅田委員・・・子どもが担任の先生以外に相談できる先生を見つける機会を学校が設けることが必要なのでは。

→神尾副会長・・・現在6年生が教科担任制を行っている。教師の働き方改革だけでなく、児童が学年の全ての先生と関わることができおり、とても効果的である。

（2）について

神尾副会長・・・教職員にアンケートをとったところ、8割近くの教職員は形を変えて米作りを続けていきたいと考えていることがわかった。現在は25時間を米作りの学習に使っているが今後は15時間にしたい。体験学習の代掻き、田植え、草刈り、稲刈りのどこかを機械化した様子を見学するという考えがある。

田中委員・・・現在、5年生の農業の学習では機械化された農業を勉強している。現在の学習を踏まえて、農業をつらい、大変なものとして学ぶのではなく、農業を楽しめるものと学習してほしい。

薩田委員・・・子どもたちには稲の育ちと刈り取りを見て欲しい。

横山会長・・・今後も現場の方と話しあって米作りの方向性を考えていって欲しい。

次回開催日程 2022年 11月16日（水）10時～
場所 富士見台小学校 ランチルーム